

列車発着取扱方

- 1 各駅における列車発着線を次のとおり指定する。
- 2 臨時列車運転の場合は、本取扱に準ずる。又一時刻を変更する列車に対しては既に指定してある発着線を変更する場合に限り指定する。

[注] 待避列車は被待避列車が運転しない時でも本表待避列車の指定線に発着させる。

◎ 山陰本線				
駅名	項番	列車番号	到着線	出発線
京都	14	下り列車(除15項列車)及び2848		山1
	15	825, 4851, 931, 841, 829, 843, 831, 833, 845, 935, 835, 4845, 4847, 2832, 2838, 2934		山2
	16	上り列車(除17, 18項列車)及び2825, 2931, 2833	山2	
	17	840, 848, 4832, 4842, 844, 4834, 2819	山1	
	18	4006	本1	
梅小路	22	下り列車(除23項列車)		西1
	23	371, 373, 375, 377, 361, 363, 379		市場線
	24	上り列車		西2

(内田富彦)

れっしゃうんてんじふん 列車運転時分 列車運転時刻表に示された各駅間の運転時分、またはその累計をいう。すなわち列車が甲駅から乙駅へ運転する場合に、その所要時分から途中駅の停車時間を除いたものをいう。運転線図によって求められた時分を計算時分といい、さらに種々の条件を加味して査定されたものを*基準運転時分という。この基準運転時分によって、列車ダイヤが画かれるのであるが、行違い・余裕時分等によって、必ずしも基準運転時分と一致しない。ある駅間のある列車の運転時分は、旅客列車15秒(電車は10秒の場合もある)、貨物列車30秒単位で決定される。(萩原貞次)

れっしゃうんてんじょうきょうひょう 列車運転状況表

国鉄においては駅長または信号掛と車掌とは列車の運転状況を、列車運転状況表に記入しておかなければならないことになっている。ただし電車区間に対しては、鉄道管理局長が指定してこれを省略することができる。この表の様式は第1表および第2表のとおりである。駅長用の列車運転状況表には、列車番号を所定の運転時刻の順に記入する。臨時列車・時刻変更をした列車の番号は赤字で書く。列車が定時に着発したときは、

第1表 駅長用

列車運転状況表

昭和 年 月 日 曜日

天気 (午前 午後) 当務者 (時から 時まで)

列車番号	閉塞に承認した時刻	到着時刻	実到着時刻	早遅	閉塞に承認を受けた時刻	所発時刻	実発時刻	早遅	記事

第2表 車掌用

列車運転状況表

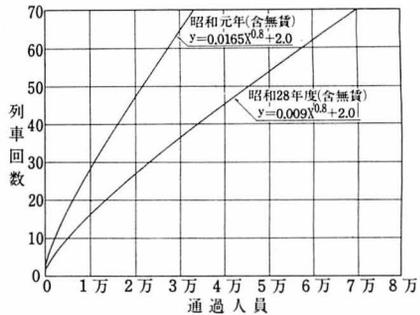
昭和 年 月 日 曜日 天候 車掌区長
第 列車 車掌区車掌

停車場名	到着時刻	実到着時刻	早遅	所発時刻	実発時刻	早遅	記事

実際に到着時刻・実際に出発時刻の欄に横に線を引く。早遅着時分・早遅発時分欄は、遅延は+で、早着発は-で表わす。また列車が遅延したときには記事欄にその事由を記入する。車掌は乗務終了後この表を所属長に提出する。駅長用は1箇年、車掌用は6箇月保存することになっている。(内田富彦)

れっしゃかいすう 列車回数 線路上のある地点を通過または発着する列車の本数を、その地点における列車回数といい、1日を単位としているのが普通である。列車の種類別に分けると、客車列車回数、混合列車回数、貨物列車回数、気動車列車回数、電車列車回数等である。またこれを方向別に分けて、下り列車回数、上り列車回数、

図-1 昭和元年度と28年度との旅客列車回数比較



片道列車回数、往復列車回数とする。列車回数の多少は職員数、車両数、線路保守の状態、燃料の準備、通信電力の諸設備、運転保安設備の程度を決定するものである。また収入の面から見ると、客貨の通過数量にくらべて、列車回数にあまりに過少である場合は、利用者に迷惑を与えるばかりでなく、客貨は他の輸送機関に転嫁し収入の減少をきたすので、ある限界があるものである。列車回数は旅客貨物の通過数量の多少によって決定されることはもちろんであるが、その他客車・貨車の数量、停車場の諸設備、線路保守の状況、輸送機会数(サービス)、国家の政策等によっても左右される。

1 客車列車回数と通過人員との関係

昭和元年度の旅客輸送実績(無貨を含む)を検討してみると、つぎのような実験式を得ることができる。

$$y = 2 + 0.0165x^{0.8}$$

x = 1日平均片道通過人員
y = 1日中における片道列車回数

また昭和28年度の実績(無貨を含む)からはつぎの実験式を得ることができる。

$$y = 2 + 0.009x^{0.8}$$

この2式を検討すると、同一通過人員で後者の方が列車回数が減少している。これは機関車の大型化による1個列車当りの